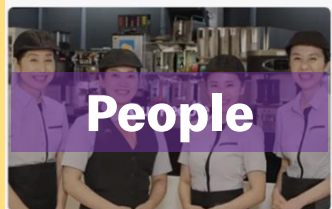


健康的な食生活の推進、
食の循環や環境を意識した日本マクドナルドの食育支援
小学校向けデジタル教材「食育の時間＋（プラス）」

日本マクドナルド株式会社
コミュニケーション&CR本部

2020年10月1日(木)

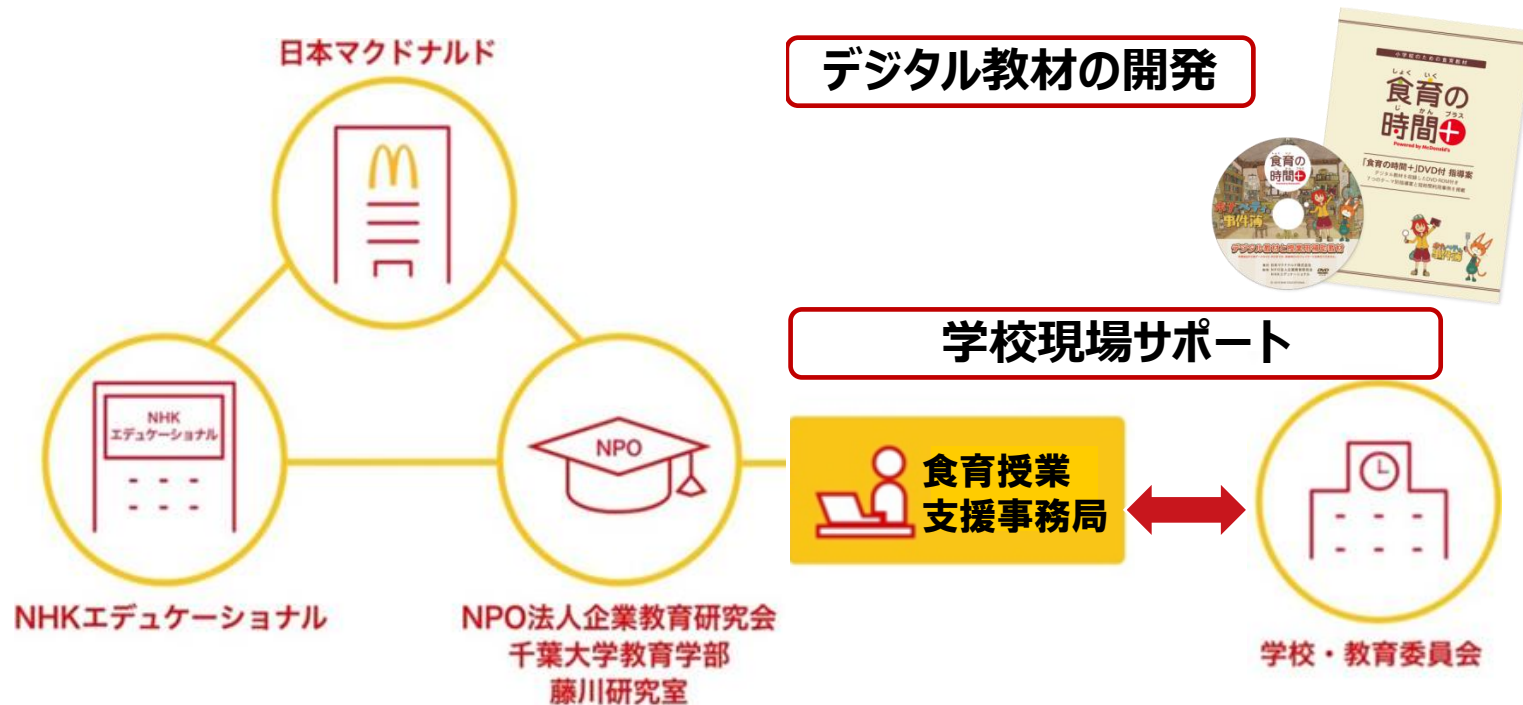
マクドナルドの社会的責任とSDGsへの貢献



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な食材の調達		●				●						●	●	●	●		●
食育支援		●	●	●													●
Donald's・McDonald's・ハウス支援			●								●						●
スポーツ支援			●														●
地域貢献	●			●							●						●
プラスチック対策/おもちゃリサイクル									●			●		●			●
森林保全															●		●
廃棄物対策									●			●					●
エネルギー対策							●						●				●
ダイバーシティ&インクルージョン					●			●		●							●

小学校のための食育教材「食育の時間」を通じた食育授業支援

- 食を提供する企業の責務 2005年～
- 生きる力「食育」
- 広く公平な活動 → 機会均等の場「小学校」



「食育の時間 + (プラス)」の特長

- 成長期の子供たちが知っておきたい7つのテーマ
- 楽しみながら学べるよう、ストーリー性のあるアニメ、動画、アプリで構成
- 科学的根拠や専門家の解説で「なぜ？」が分かる
- 再生してだけで授業が可能、動画やアプリや、短時間利用が可能

テーマ1 朝ごはんと 生活リズム



うっかりミスの原因を探れ!

テーマ2 五大栄養素と 栄養バランス



エーストライカーの
スランプの原因を探れ!

テーマ3 エネルギーと 食事



ナゾのハラペコ現象を探れ!

テーマ4 食の安全と 衛生



おなかの痛みの原因を探れ!

テーマ5 NEW みんなで知ろう! 食物アレルギー



食べ残しのナゾにせまれ!

テーマ6 楽しい食事の ひみつ



食事がつまらない原因を探れ!

テーマ7 NEW 食品ロスを 考えよう

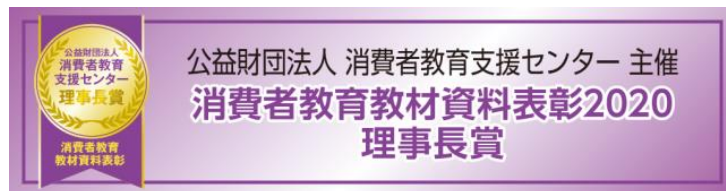


人気レストランのなやみ



「食育の時間+（プラス）」受賞歴

- **消費者教育教材資料表彰2020 理事長賞**
(2020年7月 テーマ7食品ロス)
- **食育推進企業認定 日本食育学会** (2019年度、2020年度)
- **優れた『早寝早起き朝ごはん』運動の推進にかかる
文部科学大臣表彰** (2017年)

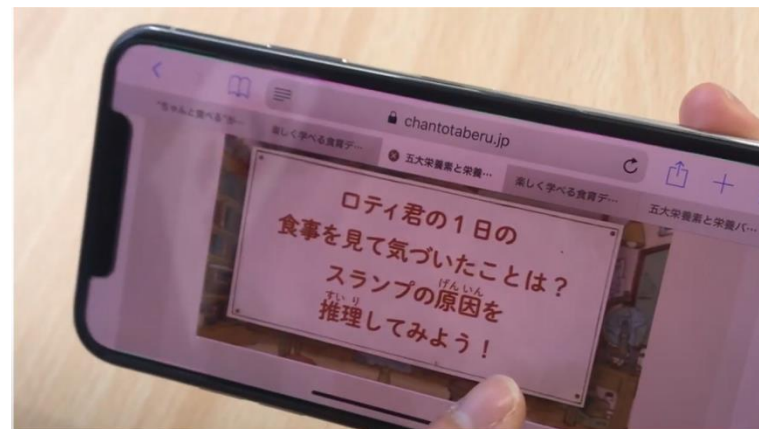


デジタル教材の良さ

- アニメや動画は子供たちを引き付け、難しい内容でも分かりやすい
- アプリはゲーム感覚で楽しく学べる
- 好きな時間にみられる、何度も繰り返してみられる
- 家庭学習にも使える

+ (新型コロナ以降)

- 視聴覚教材は
新型コロナウイルス感染防止で制限がある中の授業に役立つ



タブレットやスマホで見られるので
自習や家庭学習でも使えます

デジタル教材「食育の時間+ (プラス)」について（動画ご紹介）

教材紹介動画をウェブサイトに掲載しております。

後ほど、スマホ等でご覧ください。



教材紹介動画



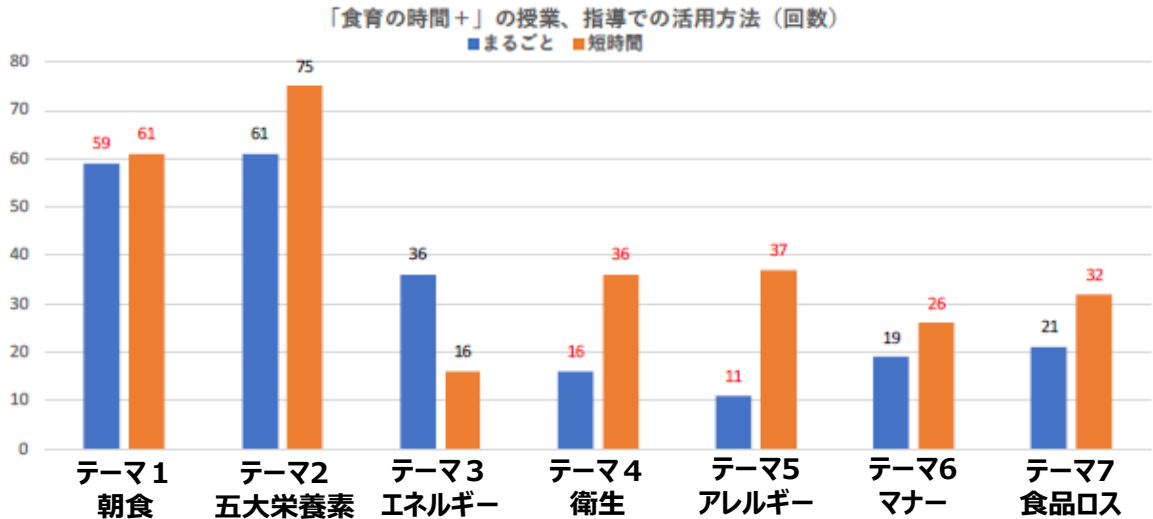
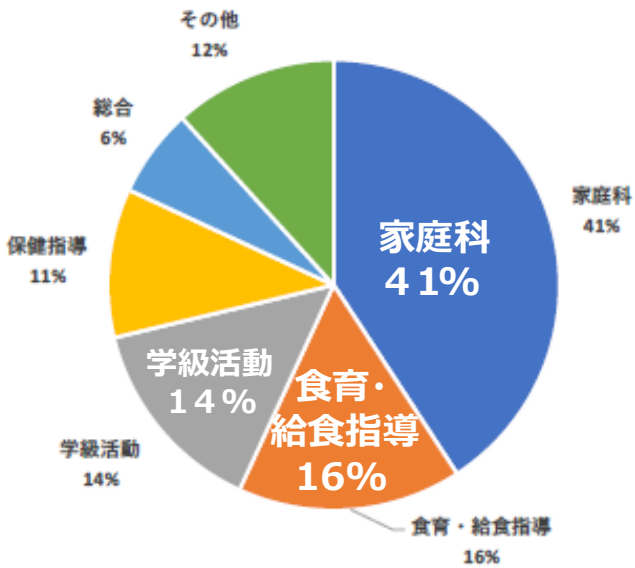
学校現場での活用

受講児童・生徒数 のべ 21万人

*2007-2019年末 学校・先生からの報告ベースの集計



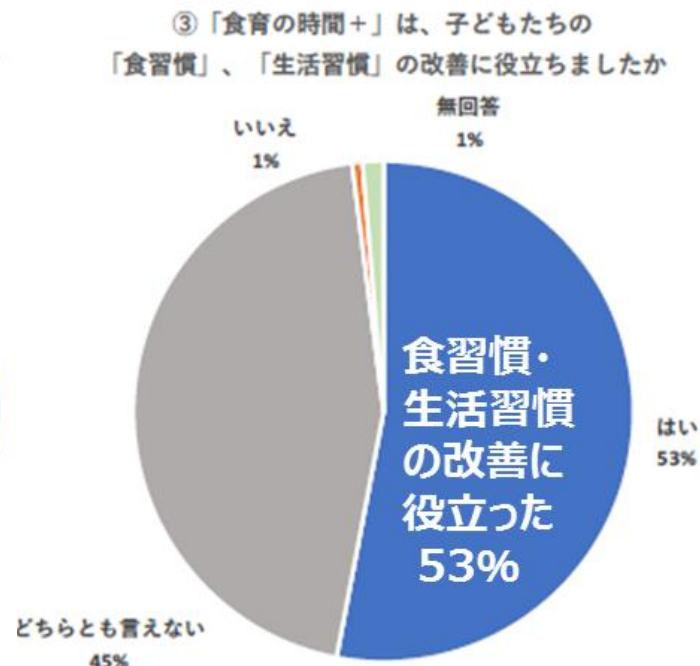
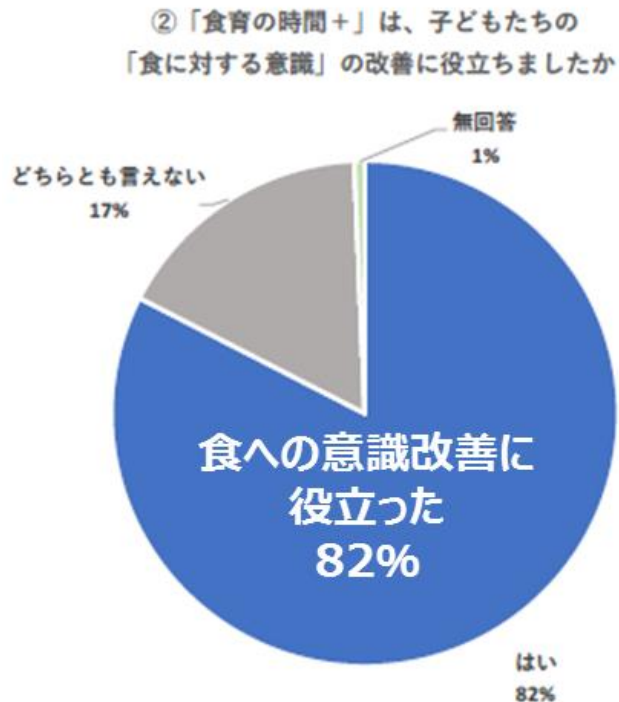
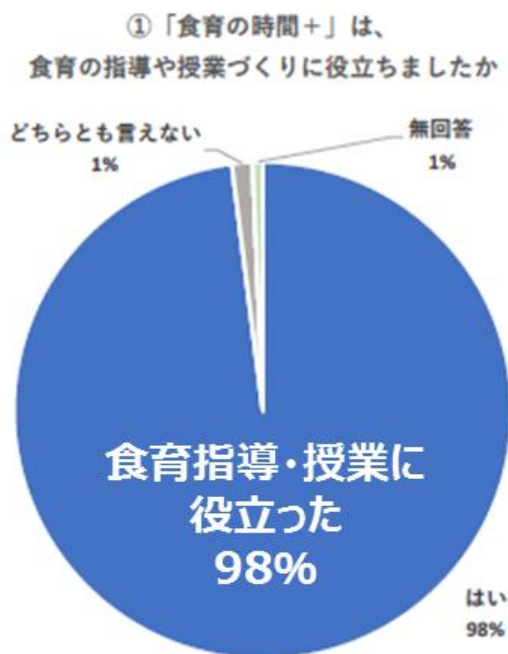
活用場面



(2019.10～2020.8 追跡アンケート調査回収395件)

教育現場からの評価

追跡アンケート調査より



「食育の時間+」サポート

<https://www.chantotaberu.jp/>



●「食育の時間+」教材

テーマ1 朝ごはん和生活リズム うっかりミスの原因を探れ!	テーマ2 五大栄養素と 栄養バランス エーススライカーの スランプの原因を探れ!	テーマ3 エネルギーと食事 ナゾのハラペコ現象を探れ!
テーマ4 食の安全と衛生 おなかの痛みの原因を探れ!	食育の時間+ Powered by McDonald's	
テーマ6 楽しい食事のひみつ 食事がつまらない原因を探れ!	ポナペティ 事件簿 	テーマ5 NEW みんなで知ろう! 食物アレルギー 食べ残しのナゾにせまれ!
	テーマ7 NEW 食品ロスを考えよう 人気レストランのなやみ	

- ・指導案
- ・ワークシート
- ・板書用掲示物

●教材DVD付き指導案冊子



●授業サポート



貸出教具「手洗いチェッカー」



教員の方向け普及活動
「デモンストレーション授業」

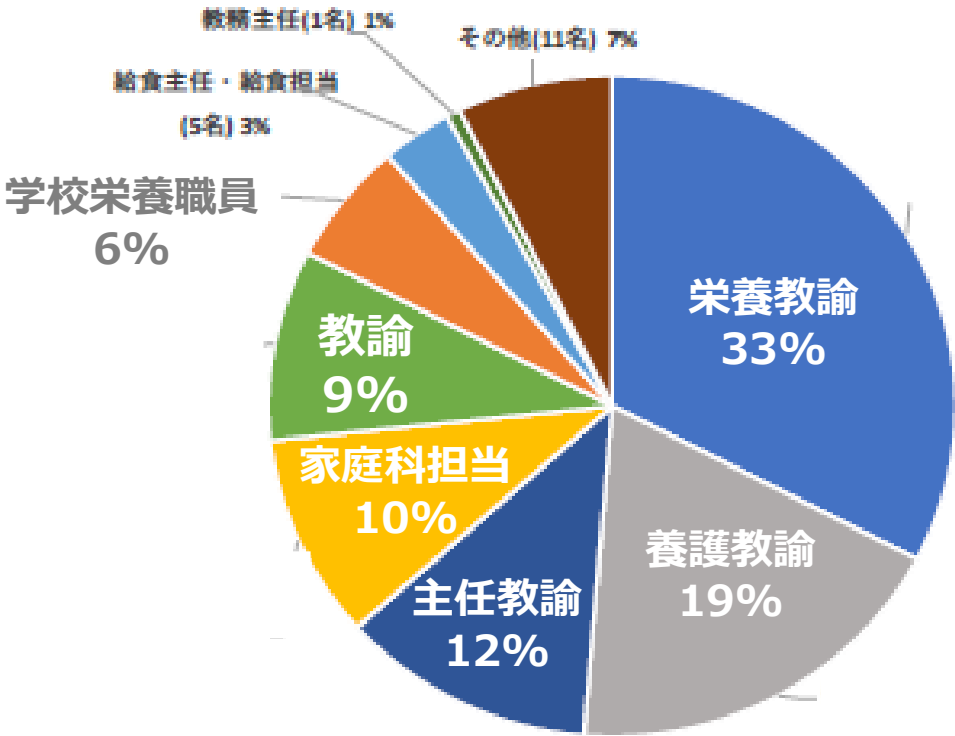
ご清聴ありがとうございました

日本マクドナルド株式会社
コミュニケーション&CR本部 CSR 部



補足資料

教材活用者の属性



学校現場からみたデジタル教材

メリット

教える側（教師）

- ✓ パワーポイントや掲示物を作成しなくても授業が可能のため、授業の準備時間が楽になりました。
- ✓ 身近に専門家の方がいなくても映像で見せることができる。
- ✓ どんな教科、学年でも使えるため、教材研究がしやすく時間短縮が可能。
- ✓ 授業、指導だけでなく学校だよりや委員会活動でも活用可能。
- ✓ 学校ではタブレットで学習できる環境が整っているため、子供が使いやすい教材は活用しやすい。

受ける側（児童・生徒）

- ✓ 栄養バランスチェッカーのようなアプリは、子供たちが楽しんで学べる。
- ✓ WEBで公開されているデジタル教材は、学校での学習後、家庭での復習も保護者とともに楽しみながら行える。
- ✓ 教材に出てくるキャラクターの行動を自分ごととして捉えて学ぼうとする子供たちの様子が多く見られた。

デメリット/機会点

教える側（教師）

- ✓ ICT教材を普段活用しないので操作方法や授業の組み立てに時間がかかった。
- ✓ 映像機器を常設していない教室では、事前準備が必要となってしまう。
- ✓ 教材として完成しすぎていると教師側のアレンジが難しい。
- ✓ 教材内で取舍選択を行う際に必要箇所の切り取りが難しい。

受ける側（児童・生徒）

- ✓ 動画再生中に集中がとぎれる子たちもいる。

新型コロナ以降の学校現場ICT教材「食育の時間」における変化

- ◆ 新型コロナウイルス対応のため、今までの「パワーポイント＋教師の説明」という授業が難しくなっている。

学校現場では言語活動どころか、**教師の発声を減らすよう勧められており、音声付きの資料は大変わかりやすい。**（中学校・教諭）

→授業中だけでなく、給食指導の際にも教職員の発声を極力抑えるよう勧められている場合もある。その場合、食育指導の大部分をICT教材（食育の時間）に任せられることで、**発声による感染リスクを抑えつつ指導ができた**といった声も寄せられた。（事務局ヒアリング）

- ◆ 新型コロナウイルスによる学校休業中の子供たちへの自宅での学習教材として「食育の時間＋」を活用しようと思った。

WEBで公開されているので、学校のHPにリンクを掲載し、子供たちが保護者とも学べる教材として各家庭へ紹介した。（小学校・教諭）

→学校休業中、自宅で実施可能な学習教材として、同様の問い合わせが事務局へ複数寄せられた。

休業中、子供たちが学びを継続できる教材を探す中で、ストーリー仕立てになっていて、視聴することで学べる教材（食育の時間＋）は非常にありがたいという声も寄せられた。（事務局ヒアリング）

- ◆ 「食育の時間＋」を活用し、休校中の課題プリントを作成した。**学校のHPに「食育の時間＋」のリンクを掲載し、自宅で視聴させて課題に取り組ませた。家庭で動画が見られない生徒には、内容を要約したプリントを配り、休校中の課題とした。**

休校中、教科書やプリントだけでは取り組みにくい家庭学習の導入として役立ったと思われる。

コロナ禍での新しい生活習慣について考え、手洗いや食品の扱いなど、今まで以上に生徒たちも考え、行動している。

休校中も弁当や昼食作り等、工夫して行っていた。（中学校・家庭科担当）

→学校からの相談を受ける中で、学校休業中の学習方法の模索に苦心している様子が見られた。

自宅学習では、教科書のみでの学習は難しいという意見もあり、WEBに公開されているICT教材（食育の時間＋）等を併せて活用することで、**教員の負担を減らしつつ、児童生徒の学びに役立てられる**といった声も寄せられた。（事務局ヒアリング）